



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

芝川のりの付着状況などを調べる富士宮市フードバレー推進協議会の関係者ら。同市の神田川

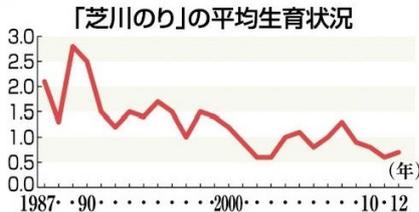


富士宮市フードバレー推進協議会は2日、環境変化で収穫量が激減している「芝川のり」の生育調査を行った。市内14カ所の定点観測地点では、ここ数年と同じく生育状況は厳しい結果だった。

芝川のり

続く

富士宮の 定点調査 生育条件を模索



日大短期大学部食物栄養学科の石川元康准教授と市職員が芝川水

系の13カ所と、富士山の湧水が流れ出る湧玉池・神田川を巡回。付着量や水温、流速、水深などを調べた。確認できずの「0」から多いの「4」まで数字で表したノリの付着量は平均0・7。過去最低だった前年度から0・1改善したものの、4年連続で1・0を下回る低水準だった。最高の「4」は3年連続で1地点もなく、過半数の8地点で「0」となった。同協議会は「6月の台風などで川の状況が大きく変わっていた。のりを人工的に付着させる実験などを通し、大きく育つ最適な条件を探したい」としている。

芝川のりは清流に自生するカワノリの一種で純緑色、味に甘みがあるのが特徴。室町時代から献上品などとして珍重されてきたが、現在は「幻のカワノリ」とも言われている。同市は特産品開発を目指す芝川のりを保護し、現況を把握することを目的に1987年から、ノリが大きく成長する夏場に生育状況を確認している。

2012年7月3日朝刊 東部版

- ① 見出しの□に適切な言葉を入れましょう。
- ② 平均生育状況が良好だったのは何年ごろですか。グラフを見て答えましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 算数・社会)